

予防保全で橋梁が長持ち！

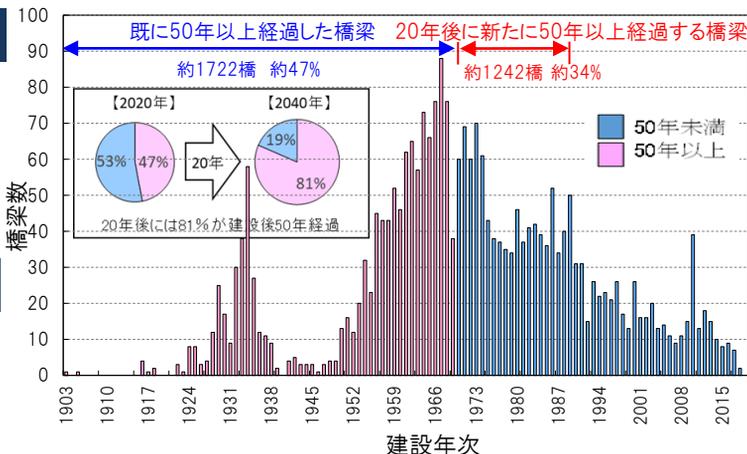
～老朽化対策により、社会経済活動の継続性を確保～

ぐんまの社会経済活動を支える

橋梁の長寿命化事業により、安全・安心な道路ネットワークを維持することで、ぐんまの社会経済活動を支えます。

老朽化対策の必要性

群馬県の管理する橋梁3,665橋うち、建設から50年以上経過した橋梁は、2020年時点で全体の47%をしめており、20年後の2040年には81%と**高齢化橋梁の割合が増加し、老朽化対策の必要性が高まっています。**



橋梁の長寿命化

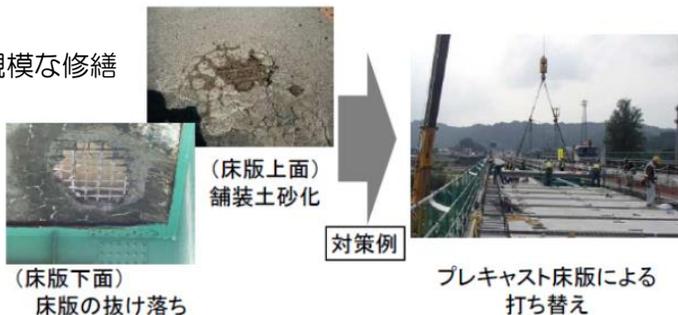
群馬県では、より計画的、効率的に橋梁の管理を行うため、「橋梁長寿命化計画」を平成22年度に策定し、**定期点検と補修を行うことで長寿命化を推進しています。**

事後保全型の管理から予防保全型の管理へ

小規模な修繕を繰り返す「**予防保全型の管理**」により、**長寿命化と維持管理費用の縮減**及び予算の**平準化**を図ります。

床版修繕のイメージ

「事後保全型」
損傷が深刻化してからの大規模な修繕



「予防保全型」
損傷が軽微なうちに修繕



【効果】維持管理費用の縮減

「事後保全型の管理」から「予防保全型の管理」へ転換により、メンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減を図り、県民の安全・安心な生活を守ります。



ストック効果